

Information

日本遺産 (Japan Heritage)



2015年度から認定がスタートした日本遺産は、今年度新たに13件が認定され、これまでに合計67件が認定されています。

地域の歴史的経緯や、その土地の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化した日本遺産。保護から活用へ、地域が誇る魅力的な文化財の活用を図るため、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取組を効果的に進めていくことが重要です。

文化庁では、日本遺産として認定されたストーリーの魅力発信や、日本遺産を通じた地域活性化について「日本遺産魅力発信推進事業」として、文化芸術振興費補助金を交付するなど積極的に支援しています。

- (1) 情報発信・人材育成
- (2) 普及啓発事業
- (3) 調査研究事業
- (4) 公開活用のための整備事業

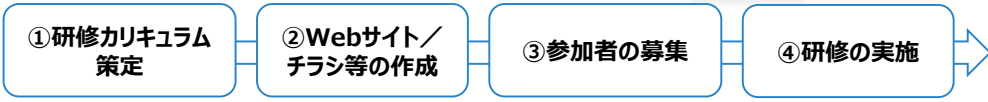
日本旅行では、日本遺産魅力発信事業における様々なサポートをいたします。

Contents

ガイド養成 (人材育成)

日本遺産に認定されたストーリーや構成文化財をわかりやすく解説できる観光ガイド養成を目的とした、人材育成事業を企画・実施いたします。

目的 日本遺産への理解の向上 / 接客スキルの向上



地域の歴史、産業、伝統文化等を学びながら構成文化財について、実際のガイディングに役立つ知識と技術を得る講座を提供いたします。

Contents

観光コンテンツ造成

日本遺産を契機とした誘客促進を図るため、認定されたストーリーを観光資源と捉え、周遊コースの設定や体験型観光プランの創出をいたします。

STEP1 ～コンテンツ開発の流れ～



単にコンテンツを造成するのではなく、徹底的なマーケティング調査を実施することで、ターゲットに響くテーマやコンセプトに基づくコンテンツを造成いたします。

①マーケティング調査

観光動態調査	位置情報分析調査により、地域に訪れる現状の観光客の特徴や観光行動を定量的に把握	
アンケート調査	WEB調査や対面調査により、日本遺産の魅力度・興味度や観光ニーズを把握	

各種調査結果を基に、ターゲットインサイトを導き出す分析を行います。

②テーマ・コンセプト設定

視察と検証	マーケティング調査に基づき、ターゲットの特性に合わせたテーマ・コンセプトの仮説を立て、商品造成・販売・PR等の様々な専門家による観光素材の視察・検証を行うことで、より戦略的なテーマ・コンセプトの設定を実現
-------	--

③コンテンツ造成

ワークショップ開催	観光地域づくりの担い手である地元住民/民間事業者/団体や外部アドバイザーである学識経験者/専門家、行政等を巻き込み、コンテンツの磨き上げ・開発のためのワークショップを実施
-----------	---

関係者の合意形成を図った上で、テーマ・コンセプトに沿った観光コンテンツを造成いたします。



STEP2 ～セールス・プロモーション～

造成したコンテンツのセールス・プロモーションもお任せください。
国内外OTA等での掲載・販売、ホームページ・観光アプリ等の制作など